

5-5. ロケータや治具の取付

- ・ チャックボデー表面にロケータや治具を取り付ける場合は、図 12 に示す追加工範囲内に穴明けを行ってください。

斜線部追加工範囲

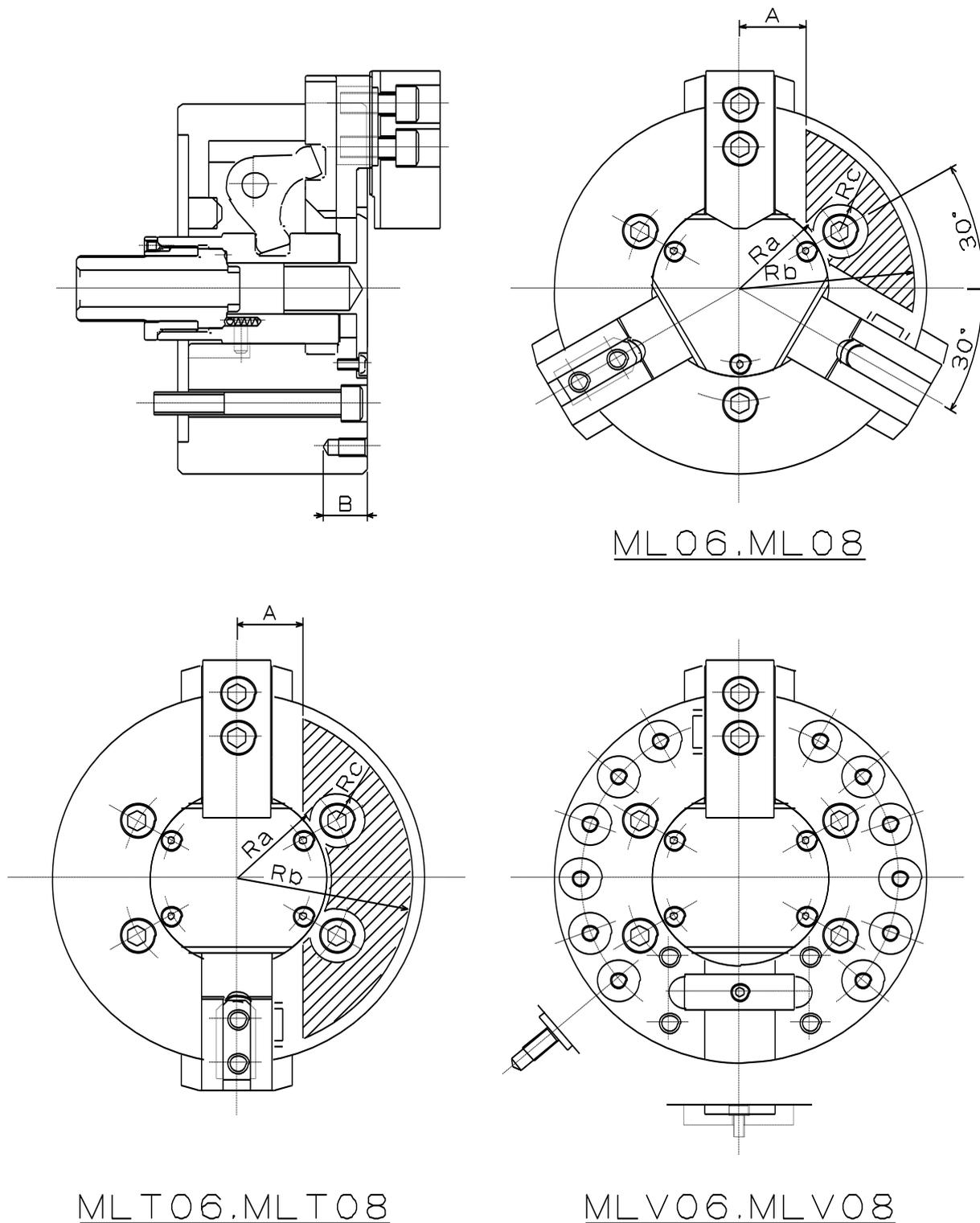


図 12

表 5

型式	A (mm)	B (mm)	Ra (mm)	Rb (mm)	Rc (mm)
ML06	30	20以下	42.5	79	12.5
MLT06	30	20以下	42.5	79	12.5
ML08	33.5	20以下	51	103	14
MLT08	33.5	20以下	51	103	14

A、Ra、Rb、Rc: 追加工不可寸法 B: 加工可能深さ

 **危 険**

- 許可された範囲以外のチャックの改造をしてはならない。チャックが破損するだけでなく、チャックや工作物が飛散する恐れがあり、危険。
- ロケータまたは治具には遠心力による飛散防止対策(ドゥエルピン等)を施し、十分な強度のボルトで取り付けること。ロケータや治具が飛散する恐れがあり、危険。